

小規模事業場向け有機性排水処理技術分野の 進捗状況及び今後の予定について

1. 平成18年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ(WG)開催経緯等

18年 6月28日	実証機関選定の公表
7月19日	平成18年度第1回WG開催
7月31日～	実証機関において実証対象技術の募集等

(2) 実証試験状況等

平成18年6月に実証運営機関として(財)日本環境衛生センターを選定し、下記2機関を今年度の実証機関として選定した。

現在、実証機関において実証対象技術の選定等手続中。

実証機関：大阪府

中核となる地方環境研究所名：大阪府環境情報センター

実証対象技術：現在調整中。

実証機関：広島県

中核となる地方環境研究所名：広島県保健環境センター

実証対象技術：現在調整中。

(WG検討員名簿は資料1-2-2参照)

2. 今後の予定

実証対象技術選定後、実証機関において実証試験を開始する予定。

平成19年3月頃に平成18年度第2回WGを開催し、実証試験結果報告書及び今後の進め方について検討を行う予定。

平成18年度環境技術実証モデル事業検討会
有機性排水処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

藤田 正憲 高知工業高等専門学校 校長

岡田 光正 広島大学 副学長

中井 尚 (社)日本フードサービス協会 事務局長、業務部長

名取 眞 (社)日本産業機械工業会 国際環境技術協力センター 顧問

中小事業所向けVOC処理技術分野の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成18年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ(WG)開催経緯等

- | | |
|---------------|---|
| 18年 3月22日 | 平成17年度第4回WG開催
(実証試験要領の作成の方向性、
実証試験要領(第1次案)等の検討) |
| 18年 9月15日 | 平成18年度第1回WG開催
(実証試験要領(第2次案)等の検討) |
| 18年 9月19日～25日 | 実証試験要領(第2次案)に対する意見の募集 |

(WG検討員名簿は資料1-2-2参照)

2. 今後の予定

10月10日(火)に実証試験要領を公表するとともに、実証機関の公募を開始する予定。

10月下旬に第2回WGを開催して実証機関の選定を行った後、実証対象技術の募集、実証試験を行う予定。

平成19年1～2月に拡大WGを開催する予定。

平成19年3月に第3回WGを開催し、実証試験結果報告書及び今後の進め方について検討を行う予定。

平成18年度環境技術実証モデル事業検討会
VOC処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

- 岩崎 好陽 (社)におい・かおり環境協会 会長
- 小淵 存 (独)産業技術総合研究所環境管理研究部門 浄化触媒
研究グループ長
- 坂本 和彦 埼玉大学大学院理工学研究科 教授
- 土井 潤一 日本産業洗浄協議会 理事
- 中杉 修身 上智大学大学院 地球環境学研究科 教授
- 保坂 幸尚 東京都環境局環境改善部有害化学物質対策課 課長
- 本田 城二 共同印刷株式会社 環境管理部 部長

ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減技術） の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 18 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

18年 8月25日	平成18年度第1回WG開催 (実証試験要領作成の方向性等の検討)
9月19日	平成18年度第2回WG開催 (実証試験要領(第1次案)等の検討)

(WG検討員名簿は資料1-3-2参照)

2. 今後の予定

- 10月中旬頃に実証試験要領(第2次案)について意見の募集を行う予定。
- 10月下旬以降に実証試験要領を公表するとともに、実証機関の公募を開始する予定。
- 11月中旬に第3回WGを開催して実証機関の選定を行った後、実証対象技術の募集、実証試験を行う予定。
- 平成19年1～2月に拡大WGを開催する予定。
- 平成19年3月に第4回WGを開催し、実証試験結果報告書及び今後の進め方について検討を行う予定。

平成 18 年度環境技術実証モデル事業検討会
ヒートアイランド対策技術ワーキンググループ 検討員名簿

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 足永 靖信 | 独立行政法人 建築研究所環境研究グループ 上席研究員 |
| 石野 久彌 | 首都大学大学院環境科学研究科 教授 |
| 前川 佳之 | 大阪府環境農林水産部
みどり・都市環境室地球環境課 課長 |
| 佐土原 聡 | 横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授 |
| 下田 吉之 | 大阪大学大学院工学系研究科 助教授 |
| 森川 泰成 | 大成建設株式会社建築技術開発部 部長 |

山岳トイレ技術分野の 進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 18 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ (W G) 開催状況等

- ・ 8 月 1 日 平成 18 年度第 1 回 W G 開催
(平成 18 年度実証技術の試験計画案の検討等)
- ・ 10 月下旬 平成 18 年度第 2 回 W G 開催予定
(試験地視察を兼ねる)

(W G 検討員名簿は資料 1 - 4 - 2 参照)

(2) 実証機関における実証試験の進捗状況等

- ・ 実証機関 : 特定非営利活動法人グラウンドワーク三島 1 技術
実証技術 : 東陽綱業 (株) 生物処理方式
実証試験地 : 静岡県富士宮市の白糸の滝
- ・ 実証機関 : 特定非営利活動法人山の E C H O 2 技術
実証技術 : ニッコー (株) 生物処理方式
実証試験地 : 埼玉県秩父郡長瀬町の宝登山ロープウェイ山麓駅
実証技術 : 永和国土環境 (株) 生物処理方式
実証試験地 : 長野県軽井沢町見晴台

以上 3 技術を実証試験中である

2. 今後の予定

- ・ 平成 19 年度実証試験要領の作成
- ・ 平成 19 年度実証機関の募集

平成 1 8 年度環境技術実証モデル事業検討会
山岳トイレし尿処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

- 柏原 一正 (有)鹿島槍観光開発(冷池山荘、種池山荘、新越乗越山荘)
桜井 敏郎 (社)神奈川県生活水保全協会理事
鈴木 富雄 長野県環境保全研究所専門研究員
船水 尚行 北海道大学大学院工学研究科教授
森 武昭 神奈川工科大学電気電子工学科教授 <座長>
吉田 孝男 N P O 環境資源保全研究会代表
渡辺 孝雄 (財)日本環境整備教育センター調査研究部主幹

(50音順、敬称略)

非金属元素排水処理技術分野（ほう素等排水処理技術）
の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 18 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

平成 18 年 3 月 6 日	実証試験要領第 2 版の公表
3 月 6 日～ 3 月 20 日	実証機関の募集
8 月 9 日	平成 18 年度第 1 回WG開催

（WG 検討員名簿は資料 1 - 5 - 2 参照）

(2) 実証試験状況等

実証機関：環境省

平成 18 年 7 月 7 日～ 7 月 28 日	実証対象技術の募集
8 月 9 日	平成 18 年度第 1 回技術実証委員会 （実証対象技術の検討・選定）
9 月 20 日	平成 18 年度第 2 回技術実証委員会 （実証試験計画の検討）
10 月頃～	実証試験の実施

2. 今後の予定

実証試験の実施及びとりまとめ。

実証試験結果報告書、改訂実証試験要領を検討するWGを開催。

平成 18 年度環境技術実証モデル事業検討会
非金属元素排水処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

小坂 幸夫 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター
研究開発部 資源環境グループ長

滝沢 英夫 財団法人 中央温泉研究所 第一部 研究員

名取 眞 社団法人 日本産業機械工業会
国際環境技術協力センター 顧問

藤田 正憲 高知工業高等専門学校 校長

宮崎 章 独立行政法人 産業技術総合研究所
環境管理技術研究部門計測技術研究グループ 招聘研究員

湖沼等水質浄化技術分野の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 18 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ (WG) 開催経緯等

17年3月16日	実証試験要領(第2版)公表
3月20日～4月3日	実証機関の募集
4月20日	実証機関(継続)の選定
5月23日～6月12日	各実証機関において実証対象技術の募集
7月6日	平成18年度第1回WG開催 (新規実証機関の選定)
7月18日～7月31日	新規実証機関において実証対象技術の募集

(WG検討員名簿は資料1-6-2参照)

(2) 実証試験状況等

実証機関において、実証試験の実施中

- ・埼玉県：3技術(2技術新規、1技術継続)
- ・大阪府：1技術新規
- ・広島県：(実証対象技術を公募したが選定に至らず)
- ・香川県：1技術継続
- ・愛媛県：1技術継続
- ・石川県：2技術新規

2. 今後の予定

年度内に実証試験結果報告書及び来年度からの手数料体制に向けた検討を行うWGを2回程度開催する予定

平成18年度環境技術実証モデル事業検討会
湖沼等水質浄化技術ワーキンググループ 検討員名簿

- | | |
|-------|-----------------------|
| 岡田 光正 | 広島大学 理事・副学長 |
| 島谷 幸宏 | 九州大学大学院工学研究院環境都市部門 教授 |
| 田中 仁志 | 埼玉県環境科学国際センター水環境分野 主任 |
| 福島 武彦 | 筑波大学大学院生命環境科学研究科 教授 |
| 水口 定臣 | 愛媛県環境局環境政策課 水環境係長 |

環境技術実証モデル事業

閉鎖性海域における水環境改善技術分野（新規分野）の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 18 年度の進捗状況

【ワーキンググループ（WG）開催経緯等】

平成 17 年度に自治体アンケートおよび有識者ヒアリングを実施した結果、閉鎖性海域における水環境改善技術について、幅広い実証ニーズが存在することが判明した。

このため、平成 17 年度第 3 回環境技術実証モデル事業検討会（平成 18 年 3 月 15 日開催）において、新規分野として以下の技術を追加することとした。

【対象とする技術の内容】

- ・ 水質の悪化により、貧酸素水塊や赤潮等が発生し、生態系等に悪影響が生じている閉鎖性海域において、水質および底質の直接浄化に資する、または生物生息環境の改善に資する技術分野。ただし、現場で直接適用可能なものを基本とし、しゅんせつ等大規模な土木工事等を要するものを除く。

2. 今後の予定

【平成 18 年度】

- ・ 18 年 10 月 23 日：第 1 回 WG 実証試験の位置づけの検討、試験方法の枠組みの検討、対象技術の検討 等
- ・ 18 年 11 月：第 2 回 WG 実証試験要領（第 1 次案）の検討
- ・ 18 年 12 月：第 3 回 WG 実証試験要領（第 2 次案）の検討、関係者による意見陳述
- ・ 19 年 1 月：第 4 回 WG 実証試験要領（第 3 次案）の検討
- ・ 19 年 2 月：実証試験要領の公表、実証試験機関の募集
- ・ 19 年 3 月：第 5 回 WG 実証機関の選定

【平成 19 年度】

- ・ 実証機関による実証試験を開始

（WG 検討員名簿は資料 1 - 7 - 2 参照）

平成 18 年度環境技術実証モデル事業検討会
閉鎖性海域における水環境改善技術ワーキンググループ
検討員名簿（案）

上嶋英機（広島工業大学 環境学部 地域環境学科 教授）

岡田光正（広島大学 副学長）

中村由行（独立行政法人港湾空港技術研究所 海洋・水工部 沿岸環境領域長）

西村 修（東北大学大学院 工学研究科 教授）

松田 治（広島大学 名誉教授）

（敬称略 50 音順）

この他、地方公共団体の研究所および行政機関の職員から各 1 名が検討員として参画予定。